

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2020年3月期決算を発表すると共に「2020年3月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」、「決算付属資料」、「2020年4月 月次売上高速報(最新版)」も発表しました。詳細は発表資料をご覧ください。 <https://www.sra-hd.co.jp/>

(1)2020年3月期(2019年度)業績

◎前年比

売上高:増収

収益:粗利益、営業利益、経常利益のいずれもが増益。当期純利益は減益

◎業績予想比

売上高、営業利益、経常利益のいずれもが予想値を上回る。当期純利益は未達

◎配当金

当期の配当は、営業利益、経常利益が業績予想値を上回ったことと、

今回の損失がキャッシュアウトを伴わないことから、

株主還元のさらなる充実を図ることを目的に、期末配当金を1株当たり70円(普通配当)とし、年間配当金を110円(普通配当110円)としました。

(2)2021年3月期(2020年度)業績予想

◎売上高 427億円、営業利益 45億円、経常利益 45億円、当期純利益 31億5千万円、1株当たり当期純利益 255.34円

◎配当金・・・株主還元の更なる充実を図るべく、従来通り配当性向50%を目処に、[安定的な高配当]を目指す

・1株当たり配当金=110円(普通配当110円:中間配当40円、期末配当70円)を計画配当性向43.1%を予想

◆2021年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっております。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

(3)2020年3月期 業績(連結)前年比

売上高:436億42百万円(7.0%増) 運用・構築事業、販売事業が増収

主な要因

・開発事業(2百万円減/0.0%減):大学関連、サービス他が増加。製造業が減少

・運用・構築事業(6.1%増):企業向けおよび大学関連がいずれも増加

・販売事業(18.6%増):(株)AITの機器販売が大きく増加。(株)SRAと海外子会社の機器販売も増加

◎粗利益:95億88百万円(5.5%増) 粗利益率:22.0%(前年22.3%)

主な要因:利益率向上施策により粗利益が増加

◎営業利益:49億48百万円(21.3%増) 営業利益率:11.3%(前年10.0%)

主な要因:粗利益の増と販管費の効率化

◎経常利益:49億51百万円(10.8%増) 経常利益率:11.3%(前年11.0%)

主な要因:営業外収益/為替差益の減少、営業外費用/為替差損の増加

◎当期純利益:6億12百万円の損失

主な要因:特別損失の計上(投資有価証券評価損および減損損失等)

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

[2020年4月 月次売上高(最新版)]

(株)SRA、(株)AIT、国内子会社、海外子会社

=出遅れている会社があるものの、AITと国内子会社は堅調にスタート

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2020.html

2019年度は、当期純利益が大きく減益となり、皆様にはご心配をお掛けしておりますが、今回の反省点を活かし、これからも企業価値ならびに株主価値の向上を目指し、より一層、尽力してまいります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今年度も足元の状況をお知らせすべく、「月次売上高速報」は引き続き、毎月、皆様に公開してまいります。

「良い情報はもとより、悪い情報もいち早く公開する」という当社のスタンスに変わりはありません。